

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 4 月 6 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*1	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 1.8 m ³ /h	24.6	106.1 kPa abs	A系:0.00 vol% B系:0.00 vol%
		給水系：約 4.7 m ³ /h			
2号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 6.2 m ³ /h	50.2	26.28 kPa g	A系:0.20 vol% B系:0.19 vol%
		給水系：約 2.9 m ³ /h			
3号機	淡水 注入中	炉心スプレ系：約 5.1 m ³ /h	55.4	0.30 kPa g	A系:0.20 vol% B系:0.19 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0
2号機	循環冷却システム	運転中	15.3
3号機	循環冷却システム	運転中	14.9
4号機	循環冷却システム	運転中	26

【4号機】・4/6 13:14 使用済燃料プール代替冷却システムにおいて、一次系循環ポンプの吸込圧力が低下傾向にあったことから、当該ポンプの吸込側ストレーナのフラッシングを行うため、使用済燃料プールの冷却を一時停止。

15:29 当該作業を完了したことから使用済燃料プールの冷却を再開。なお、冷却再開後の使用済燃料プール水の温度は約 25℃で使用済燃料プール水温度の管理に問題なし。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	3/20 10:14 ~ 4/6 9:43 移送実施
		集中廃棄物処理施設 [プロセス主建屋]	4/6 10:08 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋 →	集中廃棄物処理施設 [雑固体廃棄物減容 処理建屋 (高温焼却炉建屋)]	4/3 10:08 ~ 4/5 14:54 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (4/6 7:00 時点)

設備	セシウム吸着装置	第二セシウム吸着装置(サリー)	除染装置	淡水化装置(逆浸透膜)	淡水化装置(蒸発濃縮)
運転状況	運転中	停止中*	停止中	水バランスをみて断続運転	水バランスをみて断続運転

*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

・H24/4/5 1:05 頃 淡水化装置(逆浸透膜式)から濃縮水を濃縮水貯槽に送る流量が上昇したことから、水の漏えいの可能性があるため、1:10 頃、同装置を手動にて停止。水の漏えいを防ぐために、1:45 頃、淡水化装置から濃縮水を濃縮水貯槽に送る配管(耐圧ホース)の前後にある弁を閉止。当社社員が現場を確認したところ、1:50 頃、同配管からの水漏れが確認されたが、淡水化装置の停止および弁を閉めたことにより、2:20 頃、漏えいが停止していることを確認。また、耐圧ホース保温材より漏えいしていたことを確認したことから、保温材を外したところ、接続フランジ部から耐圧ホースが外れていることを確認。約 12m³ の濃縮水が、一般排水用の排水溝を経由して、海へ流出している可能性があることから、漏れた水、排水溝内の水および1～4号機側放水口から南側に約 300m離れた一般排水用の排水溝出口付近の海水について、サンプリングを実施。その結果、漏れた水、排水溝内の水からガンマ線核種および全ベータ放射能が検出されたものの、排水溝出口付近の海水は検出限界未満であることを確認。また、同日実施した発電所敷地他沖合のサンプリングの結果、ガンマ線核種および全ベータ放射能について検出限界未満であることを確認。なお、淡水化装置(逆浸透膜式および蒸発濃縮装置)は運転を停止しているが、淡水化処理した水は十分にあることから、原子炉注水への影響はない。

・H24/4/5 1:05 第二セシウム吸着装置において、警報が発生し同装置が自動停止。現場を確認した結果、漏えいがないことを確認。装置の停止原因は、第二セシウム吸着装置の操作パネル(タッチパネル)の「モード切替ボタン」に運転員が誤って接触したことであり、これにより自動停止したものと判明。

<5. その他>

・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5、6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。

・H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。

・H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。

・H24/3/14～ 港湾内の海底土拡散防止を目的として、固化土(被覆材)による海底土被覆工事の本格施工に着手。

・H24/4/5 3号機原子炉建屋上部において、大型クレーンによるダストサンプリングを実施。

3号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。

以上